

第 25 回 JOCNTC 発第 268 号

平成 26 年 3 月 3 日

公益財団法人日本セーリング連盟

専務理事 前田 彰 一 殿

公益財団法人 日本オリンピック委員会

専務理事 青木 剛



「平成 26 年度 JOC ナショナルコーチアカデミー」について

本会では、「JOC Gold Plan」の長期的国際競技力向上計画の一環として、「JOC ナショナルコーチアカデミー」を開催しており、平成 26 年度は別添実施要項のとおり開催することとなりました。

つきましては、実施要項をご確認のうえ、本アカデミーの受講希望者につき、同封の「受講希望者推薦書」、「調書」及び「出欠予定調査票」を平成 26 年 4 月 7 日(月)までに下記の間合せ先までご提出いただきますようお願い申し上げます。

なお、受講希望者に対し、案内が必要な場合には、ご連絡いただきますようお願いいたします。

記

1. 受講対象者

競技団体が推薦する下記の者及び本会が認める者とする。

①JOC 専任コーチングディレクター及び同候補者

- ・平成 26 年度専任コーチングディレクターのうち本アカデミー未受講者(外国籍コーチを含む)
- ・次年度以降における専任コーチングディレクター候補者

②強化スタッフ

③その他受講希望者

※①については、専任コーチングディレクターの認定を受ける前提条件として、本アカデミーの修了が義務づけられています。

※①～②の該当者は、日本体育協会公認コーチ、上級コーチ資格ホルダー及び同等の知識・スキルを有すること。

※③の該当者は、原則、日本体育協会公認コーチ、上級コーチ資格ホルダーであること。

※各競技団体はスポーツ基本計画に基づき、女性指導者の育成を推進するために、女性指導者も推薦することが望ましい。

## 2. 添付資料

- ①平成 26 年度「JOC ナショナルコーチアカデミー」実施要項
- ②受講希望者推薦書、調書及び出欠予定調査票

## 3. 問合せ先

JOC ナショナルコーチアカデミー事業 アシスタントディレクター 伊藤リナ

〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1 味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL 03-5963-0355      FAX 03-5963-0356      E-mail [r-ito@joc.or.jp](mailto:r-ito@joc.or.jp)

## 平成 26 年度 JOC ナショナルコーチアカデミー 実施要項

### ◇趣 旨

ナショナルコーチアカデミー制度は、平成 24 年に策定された「スポーツ基本計画」において明示され、また「JOC Gold Plan」の長期的国際競技力向上計画の一環として位置づけられている。本アカデミーは、オリンピックをはじめとする国際競技大会で活躍できる選手を育成・指導する真のエリートコーチ及び各種スタッフの養成を目的とする。

各競技のナショナルチームの指導に携わる JOC 専任コーチングディレクターは、その認定を受けるにあたり予め本アカデミーを受講し、修了していることを前提条件とする。

### ◇コンセプト

- (1) 日本の代表としての品格・資質を兼ね備えた真のトップコーチを養成する。("elite")
- (2) 職業観・倫理観・社会的責任において、専門家としての誇りを持つコーチを養成する。("professional")
- (3) 日本としての戦い方を追求するとともに、「国際基準」を踏まえた戦略、強化指導を行うことができ国際舞台で活躍できるコーチを養成する。("international")
- (4) 知識や情報の一方通行ではなく、受講者と講師、受講者間の双方向による情報交換を主体とする。また指導現場において選手及び指導者間との双方向を意識できる指導者を養成する。("interactive")
- (5) 競技の枠を超えた交流・連携を通し、日本スポーツ界の発展を目指す。("Team JAPAN")

### 1. 受講対象者

加盟団体が推薦する下記の者及び本会が認める者とする。

- ①JOC 専任コーチングディレクター候補者
- ②強化スタッフ等
- ③その他受講希望者

※①②の該当者は、日本体育協会公認コーチ、上級コーチ資格ホルダー及び同等の知識・スキルを有すること。

※③の該当者は、原則、日本体育協会公認コーチ、上級コーチ資格ホルダーであること。

※各競技団体はスポーツ基本計画に基づき、女性指導者の育成を推進するために、女性指導者も推薦することが望ましい。

## 2. 実施期間

平成26年6月(2日～5日、9日～12日、16日～19日、23日～26日)及び10月(6日～9日、14日～17日、20日～23日、27日～30日)

※外国籍コーチは、6月16日(月)～18日(水)の2泊3日で実施予定

※開始・終了時間は原則下記を予定

- ・開始時間…月曜：13時15分、火～木曜：9時
- ・終了時間…月～水曜：17時30分、木曜：16時

## 3. 受講定員

25名程度

※受講希望者が受講定員を超えた場合は、本会で協議の上、決定する。

## 4. 受講料

30万円/人 (交通費は含まない)

※外国籍コーチは、3万円/人

※受講料は、受講者決定後、各競技団体宛てに請求する。各競技団体は、受講決定者分を一括して本アカデミー開講日までに本会の指定する口座に振込むものとする。

## 5. 提出書類

「JOC ナショナルコーチアカデミー受講希望者推薦書、調書及び出欠予定調査票」

※各競技団体は、「受講希望者推薦書」並びに受講希望者全員分の「受講希望者調書及び出欠予定調査票」を一括して、味の素ナショナルトレーニングセンター・ナショナルコーチアカデミー事業担当に提出するものとする。

※推薦書および調書等のフォーマット(word文書)を希望する場合は、下記まで問い合わせること。

## 6. 申込締切

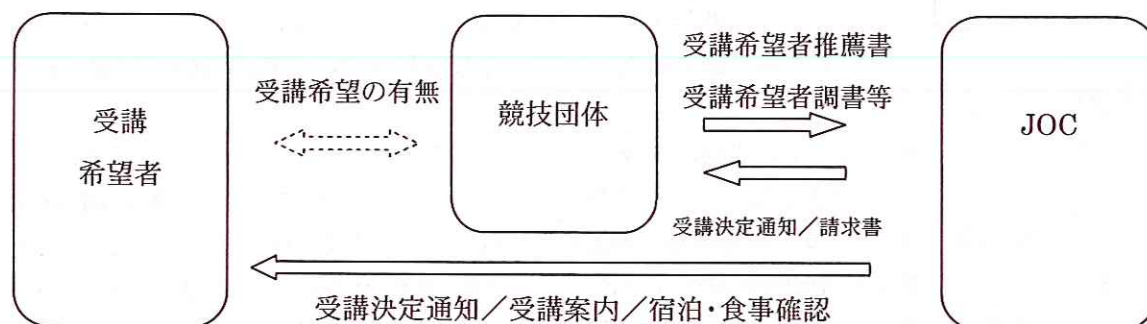
平成26年4月7日(月)

## 7. 受講手続

受講希望者多数の場合は、書類審査等により受講者を決定する。

受講者の決定後、各競技団体に決定通知及び受講料の請求書を送付する。

受講料の納付をもって、受講手続を完了とする。



### 【会場】

- ・味の素ナショナルトレーニングセンター（味トレ）
- ・その他（各種大学や地域施設等、競技別強化拠点施設）

### 【宿泊】

原則、味の素ナショナルトレーニングセンター宿泊施設（アスリートヴィレッジ）もしくは国立スポーツ科学センター（JISS）宿泊施設を本会より予約し、利用する。

## 8. 問い合わせ先

公益財団法人日本オリンピック委員会

JOC ナショナルコーチアカデミー事業 《担当：伊藤リナ》

〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1 味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL：03-5963-0354 FAX：03-5963-0356

E-mail：r-ito@joc.or.jp

## 9. その他

- (1) 日本体育協会公認上級コーチ以上となる各競技団体公認資格ホルダーもしくは海外指導者資格ホルダーで、取得単位互換希望者は上記問い合わせ先まで問い合わせること。
- (2) 提出された書類は、いかなる事情があっても返却しない。
- (3) 受講希望者調書に記載された個人情報、開催案内等の送付、会議資料作成の他、本会内部資料として使用し、他に転用しない。

## カリキュラム

集合研修	
高度競技コーチング	
コーチング論	ナショナルコーチの経験等を基に、ナショナルチームの指導に携わるコーチ及びスタッフがもつべき哲学、倫理観、役割、責任、リーダーシップ等について講義・演習を行う。また、スポーツにおける暴力行為の根絶について論じる。
運動観察／指導実践	他競技のトレーニングや指導者養成の視察、他競技のトレーニングプログラムの体験等を行う。受講者が自身のコーチングを実践する。
オリンピック論	フェアプレーや非暴力等を提唱する「オリンピズム」「オリンピックムーブメント」について理解を深めるとともに、オリンピックの意義について講義・演習を行う。
高度競技マネジメント	
マネジメント論	競技力向上に必要な様々なマネジメント能力について論じる。競技団体における事例を紹介するとともに、コーチに求められるマネジメントスキルについて、講義・演習を行う。
スポーツ情報戦略	コーチングと情報戦略の関連を論じるとともに、受講者間でディスカッションを行う。また、情報分析や映像処理の手法について講義・演習を行い、強化現場での活用を考察する。
医・科学サポート論	医・科学の各分野におけるトップ選手に対するサポートのケーススタディについて、講義・演習を行う。
キャリアコーチング	アスリートに対してコーチがとるべきキャリアコーチングの考え方や具体的な支援方法について講義・演習を行う。
メディア論	選手や指導者等に対するメディアの視点をもとに、メディアとのコミュニケーションについて講義・演習を行う。
スポーツと法	紛争事例（選手選考、暴力（体罰）事件、セクシュアル・ハラスメント、ドーピング紛争等）を基に、指導者の法的及び社会的責任について講義・演習を行う。
スポーツビジネス	企業もしくはスポーツ団体におけるスポーツに対する取り組みについて、担当者による講義等により、スポーツマーケティングについて演習を行う。
ビジネスシミュレーション研修	ビジネスシミュレーションを通じて、コミュニケーションスキル、交渉力、戦略思考、経営マネジメント等の考え方やスキルについて実習する。
コミュニケーション	
ロジカルコミュニケーション	言語技術を通して、分析的・批判的な情報の取り出し方法、論理的で分かりやすい情報伝達の手段を身につけ、競技者やチーム・組織へのアプローチの核となるコミュニケーションスキルについて実習する。
ディベート実習	論理的思考、論理的コミュニケーション、プレゼンテーションスキル、質問力、論理構築力の考え方やスキルについて実習する。
アッセンブリ	本アカデミーで習得したこと、課題、現場研修の報告等、受講者が設定したテーマについて、ディスカッションを行う。
プレゼンテーション実習	伝えたいことを選手やチーム、組織のステークホルダー等に確実に理解させられるようにプレゼンテーション力を高めるため、受講者自身が行う。
野外研修(ASE)	野外実習を通して、コミュニケーションやリーダーシップ等の重要性を再認識するとともに、受講者間の連帯意識の醸成を図り、今後のチーム指導に役立つスキルを習得する。
アセスメント	本アカデミーのプログラムを振り返り、プログラム及び自身に対する評価・分析を行う。
現場研修	所属チーム等においてOJT(On the Job Training)を行い、本アカデミーで習得した知識やスキルを実践する。